

わが社の防火

近畿日本鉄道株式会社 布施駅

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、この度は優良防火管理事業所として表彰して頂き、誠にありがとうございます。この栄誉は、ひとえに皆様のご指導並びにご支援によるものと改めて感謝申し上げます。今後も皆様のご期待に背かぬよう、

なお一層の努力を重ねる所存でございます。つきましては、当社の防災への取り組みを紹介させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。



布施駅長
澤井良春氏

① 職場紹介

近鉄布施駅は、大正3年4月30日に開業いたしました。

布施駅のある東大阪市は河内平野のほぼ中央部に位置し、「フセ」の由来は自然地名で「フス」「倒す」から傾斜地、長く横につながったところ、また「防ぐ」の語源から水流などを防ぐ場所、「クセ」「曲瀬」の転訛で川瀬の浅いところの意味とされます。

昭和52年6月に高架化され、現在の三層式高架駅となりました。



② 防災の取り組み

近年、自然災害が頻発化・激甚化する中で、国民生活や社会経済活動の維持に大きな役割を担う運輸事業者には、発災時における被害の拡大防止と業務活動の維持および早期回復を図ることが期待されるとともに、災害への対応力の向上が求められており、災害に立ち向かう防災体制を整えることで迅速な初動と早期復旧を可能とし、安全の確保と事業の維持を実現することが出来ると考えます。



これらから、布施駅では、火災及びその他の災害予防、並びに人命、財産の安全を図り被害を最小限に止めるため消防計画に基づき、早急に自衛

消防隊を編成します。

また、災害発生時の避難誘導については、沈着冷静に状況を判断し、お客様の安全を最優先に考えた行動に最善を尽くします。そのため、毎年3月に、東大阪市西消防署と協力のもと、布施駅高架下ロコモールとの連携による火災総合訓練を実施し有事に備えています。



③ 今後の目標および取り組み

今後も火災、地震その他の災害による人命の安全確保、被害の軽減並びに二次災害の発生防止を図るため、更なる防火防災訓練の充実と関係箇所との連携を密にし災害予防に取り組んでまいります。